

学習目標		
(1) 具体物を用いた活動などを通して、数についての感覚を豊かにする。数の意味や表し方について理解できるようにするとともに、加法及び減法の意味について理解し、それらの計算の仕方を考え、用いることができるようにする。 (2) 具体物を用いた活動などを通して、量とその測定についての理解の基礎となる経験を重ね、量の大きさについての感覚を豊かにする。 (3) 具体物を用いた活動などを通して、数量やその関係を言葉、数、式、図などに表したり読み取ったりすることができるようにする。		
単元・題材名	学 習 内 容	
4月	1 なかまづくりとかず	・ 10 までの数について、個数の考え方や数の読み方、書き方、数の構成などを理解し、数を用いる。
5月	2 なんばんめ 3 いくつといくつ	・ 数を用いてもものの順序を正しく表す。 ・ 10 までの数の構成を理解し、数を多面的にみる。
6月	4 あわせていくつ ふえるといくつ 5 のこりはいくつ ちがいはいくつ 6 10 よりおおきいか ず	・ 加法の意味と和が 10 位内の加法計算の仕方を考え理解し、用いることができるようにする。 ・ 減法の意味と被減数が 10 位内の減法計算の仕方を考え理解し、用いることができるようにする。
7月	7 なんじなんじはん 8 どちらがながい	・ 40 までの数について、個数の考え方や数の読み方、書き方、数の構成などを理解し、数を用いる。 ・ 時刻に関心を持ち、時計から何時、何時半の時刻を読めるようにし、日常生活に生かす。
8・9月	9 3 つのかずのけいさん 10 どちらがおおい	・ 長さの比較などの活動を通して、長さや測定についての理解の基礎となる経験や、長さについての感覚を豊かにする。 ・ 3 つの数の加法計算の仕方を考え理解し、それを用いる。
10月	11 たしざん 12 かたちあそび	・ 体積の比較などの活動を通して、体積とその測定についての理解の基礎となる経験や、体験についての感覚を豊かにする。 ・ 1 位数どうしの繰り上がりのある加法計算の仕方を考え理解し、それを用いる。
11月	13 ひきざん	・ 身の回りにあるものの形についての観察や構成などの活動を通して、立体図形についての理解の基礎となる経験や感覚を豊かにする。 ・ 11～18 から 1 位数をひく繰り下がりのある減法計算の計算の仕方を考え理解し、それを用いる。
12月	14 どちらがひろい	・ 面積の比較などの活動を通して、面積の概念や測定についての理解の基礎となる経験や面積についての感覚を豊かにする。
1月	15 おおきいかず 16 なんじなんぷん	・ 2 位数について、個数の考え方や数の読み方、書き方、数の構成などを理解し、数を用いる。 ・ 時刻に関心を持ち、時計から何時何分の時刻を読めるようにし、日常生活に生かす。
2月	17 ずをつかってかん がえよう 18 かたちづくり	・ 順序数や異種の数量を含む加減の場面、求大や求小の場面についても加減計算が適用できることを理解し、それを用いる。 ・ 身の回りにあるものの形を観察したり構成したりするなどの活動を通して、平面図形について理解の基礎となる経験や感覚を豊かにする。
3月	20 1 ねんのふくしゅう	
評価の観点		
<b>【 関心・意欲・態度 】</b> 数量や図形に親しみを持ち、それらについて様々な経験を持つようとする。 <b>【 数学的な考え方 】</b> 数量や図形についての基礎的・基本的な知識及び技能の習得や活用を通して、数理的な処理に親しみ、考え表現したり工夫したりしている。 <b>【 数量や図形についての技能 】</b> 整数の計算をしたり、身の回りにある量の大きさを比較したり、図形を構成したり、数量の関係などを表したり読み取ったりするなどの技能を身に付けている。 <b>【 数量や図形についての知識・理解 】</b> 数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、整数の意味と表し方及び整数の計算の意味を理解し、量、図形及び数量の関係についての理解の基礎と経験を豊かにしている。		
評価の方法		
テスト	発言内容	活動の様子 ノート ワークシート

